

当健康保険組合の平成28年度の決算が、7月6日に開催された組合会で可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

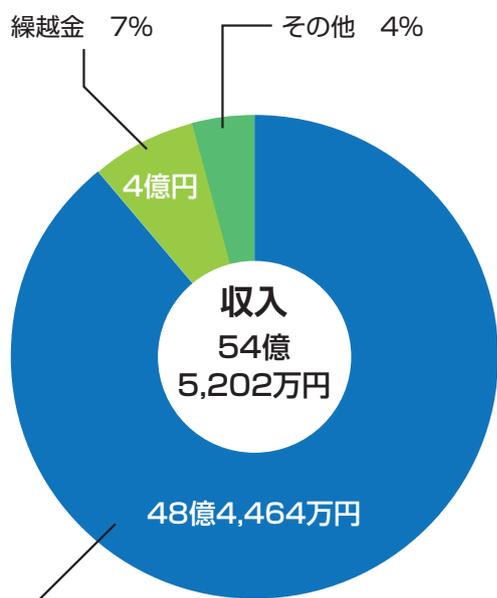
平成28年度決算のポイント

◆ 一般勘定

科目	収入	
	(単位：千円) 決算額	(単位：円) 被保険者一人当たり額
①健康保険収入	4,844,635	534,433
調整保険料収入	84,367	9,307
繰越金	400,000	44,126
繰入金	0	0
国庫補助金収入	2,877	317
特定健康診査等事業収入	19,916	2,197
財政調整事業交付金	70,075	7,730
雑収入	30,146	3,326
合計	5,452,016	601,436
経常収入合計	4,896,990	540,208
経常収支	327,291	36,104

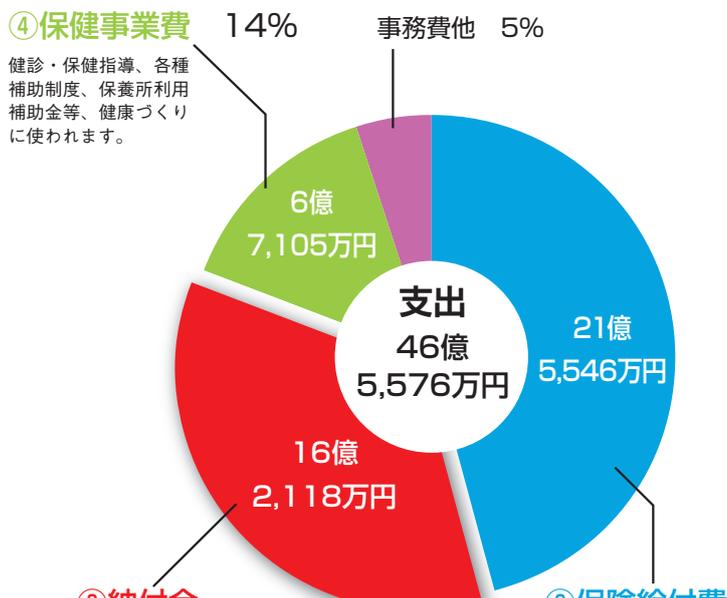
科目	支出	
	(単位：千円) 決算額	(単位：円) 被保険者一人当たり額
事務費	118,706	13,095
②保険給付費	2,155,460	237,778
③納付金	1,621,179	178,839
④保健事業費	671,053	74,027
還付金	373	41
営繕費	1,861	205
財政調整事業拠出金	84,194	9,288
連合会費	1,640	181
積立金	1,000	110
雑支出	294	32
合計	4,655,760	513,597
経常支出合計	4,569,699	504,104

基礎数値	被保険者数 9,065人
平均標準報酬月額 431,944円	健康保険料率 1000分の76



①健康保険収入 89%

被保険者と会社から納めていただく保険料です。平成28年度の保険料率は7.6% (76/1000) を折半負担していただきました。



③納付金 35%

高齢者医療制度への拠出金となります。多くの健保組合が赤字となっている原因です。

②保険給付費 46%

病気やけがをしたときの医療費・手当金として使われます。

◆ 介護勘定

科目	収入	
	(単位：千円) 決算額	(単位：円) 介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額
介護保険収入	494,931	99,264
合計	494,931	99,264

科目	支出	
	(単位：千円) 決算額	(単位：円) 介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額
介護納付金	450,931	90,439
介護保険料還付金	49	10
積立金	35,983	7,217
合計	486,963	97,666

基礎数値	介護保険の対象となる被保険者数 4,893人
平均標準報酬月額 486,469円	介護保険料率 1000分の12

決算のあらまし

当健保組合の平成28年度決算は、経常収支で3億2,729万円の黒字となりました。2年前に支出した納付金の精算により約5億3千万円が返戻されたことから、一時的に支出が減少して経常黒字となっています。

収入

みなさんと会社から納めていただく健康保険料が、健保組合の主な収入です。平成28年度の当健保組合の①健康保険収入は48億4,464万円。平成28年度は、保険料率を0.2ポイント引き上げたことから、27年度よりも3.8%増加しました。このほか、昨年度からの繰越金4億円を収入計上しています。

支出

健保組合の主な支出は、みなさんご家族が病気やけがをしたときの医療費や手当金などの②保険給付費で、21億5,546万円です。前年度と同水準の支出となりました。

保険給付費に次いで大きな支出が、高齢者の医療費を支えるために支払う費用③納付金（前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・退職者給付拠出金）で、16億2,118万円です。

納付金は法律に基づいて算定され、全額を国に納付しなければなりません。納付金はまず概算の額を納め、2年後に確定して差額が精算されます。26年度の確定額が概算額より少なかったため、約5億3千万円が返戻されました。そのため28年度の納付金は約5億3千万円減少しました。

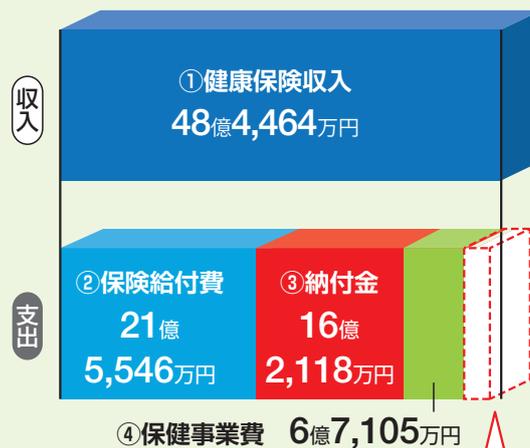
各種健診・保健指導等の健康づくり事業の費用としては、④保健事業費6億7,105万円を計上しました。

高齢化と医療の高度化により高齢者医療費は急増を続け、それを支える健保組合の納付金負担も増加し、全国の健保組合は大変厳しい財政状況に陥っています。当健保組合は一時的に納付金が減少しましたが、再び増加に転じ、財政を圧迫することが懸念されます。

納付金は自助努力が及ばない支出ですが、保険給付費はみなさんの健康保持増進や適正な受診により支出を抑制することができます。当健保組合の保健事業を活用し、医療費の節減にご協力をお願いいたします。

決算のポイント

- 健康保険収入は、保険料率の引き上げにより3.8%増加しました。
- 納付金支出が一時的に減少したことにより、経常収支で3億2,729万円の黒字となりました。
- 引き続き健康管理事業に重点を置いて保健事業を実施しました。



一時的な納付金の減少により、**経常黒字決算**となりました。

平成28年度は保険料率7.6%〔1000分の76〕で、経常収支では約3億3千万円の黒字決算に終わりました。実に9年ぶりの経常黒字となります。過去の積立金を取り崩すことなく、現年度の保険料収入で運営することができました。

しかし、28年度は納付金の精算という一時的な事情による黒字であり、高齢化の進行、高額薬剤が複数登場していること、後期高齢者支援金の計算方法が総報酬割に切り替えられたことなどを勘案すると、厳しい状況に変わりありません。

当健保組合の保険料率は、健保組合全体の平均保険料率9.168%〔1000分の91.68〕、協会けんぽの平均保険料率10.0%〔1000分の100〕と比較すると、低い水準となっています。安定した財政運営のため、少しずつ保険料率を引き上げていくことを検討する必要があります。

組合員のみなさんにはよい生活習慣を取り入れ、健診や保健指導を活用し、ジェネリック医薬品を選ぶなど医療費の節減に努めていただきますようにご理解とご協力をお願いします。当健保組合では今後も健康づくりをサポートする各種保健事業に力を入れていきます。